山田健太さんと佐藤陽子さんの意見を統合し、FocusFlowの核である「静かな集中」を保ちつつ、プロジェクトテンプレートを最大限に活用できるワークフローを構築しましょう。二人の意見は、テンプレートが「今日の集中を邪魔しない」ことと「自分の知的資産として活用できる」ことの重要性を示しています。

この統合ワークフローは、テンプレートを単なるタスクの雛形ではなく、**「プロジェクトを成功に導くための知見が詰まった道しるべ」として位置づけ、それを「今」の作業にスマートに流し込む**ことを目指します。

## プロジェクトテンプレート作成から活用までのFocusFlowワークフロー

このワークフローは、「テンプレートの作成・育成」と「テンプレートの活用・タスク生成」の二つのフェーズで構成され、それぞれがFocusFlowの主要モードと密接に連携します。

### フェーズ1：テンプレートの作成・育成（「未来の自分」への投資）

このフェーズは、主に**オーガナイズモード**と**ディスカバーモード**を活用し、ユーザーが自身の経験をテンプレートとして体系化し、未来のプロジェクトに役立つ「知的資産」として育てるプロセスです。山田さんの「ナレッジとしてのテンプレート」と佐藤さんの「スマート生成」の要望を統合します。

1. **既存プロジェクトからのテンプレート生成（スマート生成）:**
   * **アクション:** ユーザーは、完了したプロジェクトの中から特に成功した、または汎用性の高いプロジェクトを選択します。
   * **FocusFlowの機能:** そのプロジェクトの\*\*「テンプレートとして保存」\*\*ボタンをクリック。
     + FocusFlowは、プロジェクト内のタスクリスト、見積もり時間、そしてタスクに紐づく主要なメモを自動で抽出し、テンプレートのベースを作成します。
     + 日付情報は、プロジェクト開始からの**相対的な日数**（例：+5日目）に自動変換され、汎用性が高まります。
     + これは、タスクとメモが一体となった\*\*「プロジェクト遂行ガイド」\*\*のような「テンプレートドキュメント」として保存されます。
   * **UXのポイント:** テンプレート作成の**手間を最小限**に抑え、ユーザーが手軽に「ベストプラクティス」を蓄積できるようにします。
2. **テンプレートドキュメントの編集・詳細化:**
   * **アクション:** 生成されたテンプレートドキュメントを開き、内容をさらに詳細化・汎用化します。
   * **FocusFlowの機能:**
     + **統合メモエリア**をフル活用し、各タスクの背景情報、注意点、具体的な手順、よくある質問、関連リソースへのリンクなどを自由に追記・編集します。
     + [[Idea:○○UIパターン]]のように、**過去のアイデアや知見への内部リンク**を埋め込み、テンプレート自体を「生きたナレッジ」として強化します。
     + プロジェクトのフェーズ（例：要件定義フェーズ、デザインフェーズなど）ごとにタスクをグループ化し、視覚的に整理します。
   * **UXのポイント:** テンプレートが単なるタスクの羅列ではなく、**プロジェクト遂行に必要な「知見」が凝縮されたガイド**となるようにします。
3. **テンプレートの探索と改善（ナレッジとしての活用）:**
   * **アクション:** 蓄積された複数のテンプレートを俯瞰し、異なるプロジェクトから新たな視点を発見したり、改善点を見つけたりします。
   * **FocusFlowの機能:**
     + **ディスカバーモード**で、テンプレートドキュメントを他のメモやアイデアと同様に**グラフビュー**で探索できます。これにより、テンプレート間の関連性や、特定の「型」がどう発展してきたかを視覚的に把握できます。
     + テンプレートドキュメントの**全文検索**も可能で、特定のキーワードを含むテンプレートを素早く探し出せます。
   * **UXのポイント:** テンプレートが単に「使うもの」だけでなく、「学び、改善するもの」という側面を強化し、ユーザーの知的生産性を高めます。

### フェーズ2：テンプレートの活用・タスク生成（「今」に集中するための準備）

このフェーズは、ユーザーが新しいプロジェクトを開始する際に、テンプレートから「今日の作業」をスマートに引き出し、すぐに**フォーカスモード**に入れる状態を整えるプロセスです。山田さんの「今日の作業へ流し込む」と佐藤さんの「今日のタスクを生成」の要望を統合します。

1. **新規プロジェクトの開始とテンプレート選択:**
   * **アクション:** 新しいプロジェクトを開始する際、**オーガナイズモード**で「新規プロジェクト」を作成し、\*\*「テンプレートから作成」\*\*オプションを選択します。
   * **FocusFlowの機能:** 既存のテンプレートドキュメントのリストが表示され、ユーザーは適切なテンプレートを選択できます。
   * **UXのポイント:** プロジェクトの立ち上げを簡素化し、ユーザーがすぐに本質的な作業に入れるようにします。
2. **テンプレートからの「今日のタスク」生成（流し込み型）：**
   * **アクション:** 選択したテンプレートドキュメントを開き、その日の作業に必要なタスクを特定します。
   * **FocusFlowの機能:**
     + テンプレートドキュメントの**タスクリンクやチェックリスト項目**（例：[[Task:クライアントヒアリング]]）をクリック（またはドラッグ＆ドロップ）すると、そのタスクが**自動的に「今日のタスクリスト」に投入**されます。
     + テンプレート内で設定された相対的な期日や見積もり時間は、今日のタスクに変換される際に自動的に調整されます。
     + 例えば、「要件定義フェーズ」のタスクをすべて投入する、といった**フェーズ単位での一括投入**も可能にします。
   * **UXのポイント:**
     + **「今日のタスクリストが煩雑にならない」:** テンプレート内のすべてのタスクが一度に今日のリストに表示されるのではなく、ユーザーが**能動的に「今、やるべきこと」だけを選んで投入**できるため、タスクリストがシンプルに保たれます。
     + **「計画の柔軟性」:** プロジェクトの進捗状況に合わせて、必要な時に必要なタスクだけをテンプレートから引き出せるため、突発的な変更にも対応しやすいです。
3. **フォーカスモードへの移行と作業開始:**
   * **アクション:** 「今日のタスクリスト」に投入されたタスクの中から、次に着手するタスクを選択し、**フォーカスモード**に移行します。
   * **FocusFlowの機能:**
     + テンプレートから生成されたタスクは、そのタスクに紐づく元々のテンプレート内のメモ内容（手順、注意点など）を**そのまま参照**できます。
   * **UXのポイント:** テンプレートで整理された知見を、中断なく「今」の作業に活かせるため、効率的かつ質の高いアウトプットに繋がります。

この統合ワークフローにより、FocusFlowは、ユーザーが**長期的なプロジェクトの流れを把握し、過去の知見を効率的に活用しつつも、日々の「今」の作業に深く集中できる**という、独自のユーザー体験を提供できるでしょう。

このワークフローは、山田さんと佐藤さんのそれぞれのニーズをどのように満たすでしょうか？ご意見をお聞かせください。